

沖縄防災連絡会の枠組みを活用した防災・災害対応上の広報・調整について

◆ 災害前における地域への呼びかけや被災施設の早期復旧に向けた全国の取組状況

令和6年7月 梅雨前線に伴う降雨
仙台管区気象台との合同記者会見

■ 25日(木) 13時07分に山形県庄内・最上地域に大雨特別警報を発表
大雨特別警報の発表を踏まえ仙台管区気象台は、25日14:10～合同記者会見を開催
■ 仙台管区気象台から気象経過と今後の見通し及び警戒事項の説明を実施
■ 東北地整から大雨により想定される被害と住民等に求める行動などについて説明を実施
■ 記者会見の様子はWebで配信

記者会見会場の様子

大雨により想定される被害

東北地整の説明（河川調査官）

東北地整の説明（道路情報管理官）

気象台の説明（気象防災課長）

令和6年7月 梅雨前線に伴う降雨
電力・通信復旧に向けた電力・通信事業者及び道路の連絡調整会議

■ 令和6年7月24日からの前線に伴う大雨の影響で被災した電力・通信の早期復旧に向け、関東東北産業保安監督部東北支部、東北地方整備局、秋田県、山形県、東北電力ネットワーク(株)、東日本電信電話(株)で構成される「令和6年7月梅雨前線に伴う降雨インフラ復旧に向けた道路に関する連絡調整会議」を設置し、電力・通信及び道路の応急復旧に向け情報共有や復旧に向けた優先順位の調整を実施。

令和6年7月梅雨前線に伴う降雨
インフラ復旧に向けた道路に関する連絡調整会議

○第1回開催 令和6年7月27日（土）
○第2回開催 令和6年7月29日（月）
○第3回開催 令和6年7月31日（水）

【情報共有・調整事項】
▶ 道路通行止め箇所について（開放目標等）
▶ 電力・通信の復旧困難箇所等について
▶ 道路復旧優先順位等の調整方針について

【構成機関】
経済産業省 関東東北産業保安監督部 東北支部
国土交通省 東北地方整備局 道路部
秋田県 建設部
山形県 県土整備部
東北電力ネットワーク(株)
東日本電信電話(株)

【成果】
▶ 関係者から「調整会議による連携の場のセッティングに感謝」等の声があった。
▶ 関係者との調整ができたことにより、被災が甚大な山形県酒田市国道344号の停電が8月1日（木）14時55分で全て復旧。これにより、7月25日（木）以降の大暴雨により発生した停電は全て解消。

◆ 沖縄においても、既存の沖縄防災連絡会の枠組みを活用して、同様な取組を実施 (具体的な内容)

○大規模災害が想定される場合の臨時会の開催

- 台風を要因とする暴風特別警報が発表される可能性がある場合、臨時会を開催
- 臨時会では、各機関における事前対策や想定される被害等について検討・共有
- 特別警報が発表される場合には沖縄気象台と合同記者会見※1を開催し、県民への警戒を呼びかける

○災害時の調整会議の開催※2

- 必要に応じて、台風来襲前に関係機関（ライフライン関係者等）との連絡体制を構築
- 被災状況に応じて、被災施設の早期復旧に向けた関係機関による調整会議を開催

※ 1 沖縄気象台で開催している「台風第〇号に関する記者会見」を活用

※ 2 暴風特別警報の発表を問わない